

# 福島小だより

学校通信



めざす児童像：よく考え 心やさしい 元気な子  
令和5年3月1日 第13号

甘楽町立福島小学校  
校長 中島 剛

## ○春到来 ～別れと出会いの季節です～

県内の梅林では白やピンクの梅の花が咲き誇り、校庭の桜の木はつぼみが膨らみ始めています。真冬の寒さと春の暖かさが繰り返され、三寒四温を感じながら春の到来を感じる今日この頃、保護者の皆様は、いかがお過ごしでしょうか。

いよいよ6年生は、卒業という大きな節目を迎えます。小学校6年間の思い出を大切に、新たなステージへ旅立って行ってほしいと思います。また、1～5年生は、今年度のまとめをしっかりとやって進級に備えてください。

保護者の皆様には、今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。

## ○豆まき集会 ～悪い鬼を追い出して、いいクラスに～

2月3日は節分。昼活動の時間に、児童会本部役員の主催で豆まき集会を開催しました。

まず、事前学習として各クラスで、児童一人ひとりが自分自身から「追い出したい鬼」をカードに書いて模造紙に貼りました。次に、クラス全体から「追い出したい鬼」を話し合って決めました。

豆まき集会では、各クラスの代表がクラスから「追い出したい鬼」を発表しました。そして、体育館の壁に貼った「追い出したい鬼」の模造紙へ向けて、新聞紙を丸めた豆を投げつけました。「鬼は外、福は内」の掛け声で、悪い鬼を追い出しました。



## ○防災訓練 ～いざという時の心構えが大切です～

富岡消防署甘楽分署の方々を講師にお迎えし、起震車に乗って地震の揺れを体験する防災訓練を行いました。

2学年ずつ、上級生と下級生が4人1組になって起震車に乗り、震度5の揺れを1分間体験しました。子どもたちにとって、揺れは想像以上に大きく、怖さを感じたようです。

甘楽町は地震が少なくとても住みやすい町ですが、いざという時、今回の体験を生かしてしっかりと行動できるようになってほしいと思います。



## ○読み聞かせ ～物語に没頭し、心が温まりました～

2月は、真冬の寒さ厳しい朝が何度もありました。そんな朝、教室では毎週水曜日、4回、読み聞かせが行われました。

耳を澄まし、絵本を見つめる眼差しは真剣そのもので、聞き終えた子どもたちの心は、ほっこりと温まったように見えました。



ご協力くださった保護者・地域の皆様、ありがとうございました。